

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
I Tスペシャリスト科 モバイルアプリ専攻											
モバイルアプリケーション開発 2											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	山本			実務経験	有	職種	システムエンジニア				
授業概要											
(モバイルアプリ専攻) プログラミング技法をもとに、モバイルアプリケーションの作成等を学ぶ。											
到達目標											
モバイルプログラミングの概要、モバイルアプリを支える構成要素（スマートデバイス、ネットワーク、アプリケーション、セキュリティなど）も理解する。また、自ら企画・作成したモバイルアプリケーション（iOSアプリ）を生み出すことができる。さらに生み出したモバイルアプリを世の中にリリースしたり発表できるようになる。											
授業方法											
スマートフォン、タブレット機器に代表されるモバイル機器上で動作するソフトウェアの作成について、開発環境の構築方法から、実際の開発方法について学ぶ。主なモバイルアプリケーション開発は、Android開発とiOS開発に大別され、プラットフォーム毎に開発方法が全く異なる。このため、後期は、実践的なiOSアプリケーションの開発を経験する。											
成績評価方法											
試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
この授業では、普段の授業態度や提出課題を重視する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。自分でも、情報を収集し、最新のモバイルアプリ開発について調べること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	モバイルアプリ開発の概要（iOSアプリ開発やAndroidアプリ開発について最新動向を理解する）										
第2回	開発環境の構築（Xcodeを用いたiOSアプリケーション開発環境の構築ができる）										
第3回	Storyboardによる画面設計（プロジェクトの作成、Storyboardによる画面設計ができる）										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
I Tスペシャリスト科 モバイルアプリ専攻	
モバイルアプリケーション開発2	
第4回	Swift言語によるプログラミング(1) (Swift言語による簡単なプログラミングができる (算術演算子/変数/定数/データ型/型変換))
第5回	Swift言語によるプログラミング(2) (Swift言語による簡単なプログラミングができる (順次構造/選択構造/反復構造))
第6回	Swift言語によるプログラミング(3) (Swift言語による簡単なプログラミングができる (配列/辞書データ型/タプル))
第7回	Swift言語によるプログラミング(4) (Swift言語による簡単なプログラミングができる (関数/メソッド/オプション型))
第8回	UIKitを使った画面デザイン (UIKitを使った画面デザインができる (UILabel/UIButton/UISwitch/UISliderなど))
第9回	複数画面のアプリ (複数画面のアプリが作成できる (ViewControllerの使い方を理解する))
第10回	一覧表示するアプリ (一覧表示するアプリを作成できる (TableViewの使い方を理解する))
第11回	実践的アプリ開発(1) (簡単なアプリを仕様書に基いて作成できる (1つの画面のみのアプリ))
第12回	実践的アプリ開発(2) (簡単なアプリを仕様書に基いて作成できる (複数画面のアプリ))
第13回	実践的アプリ開発(3) (簡単なアプリを仕様書に基いて作成できる (一覧表示など応用的なアプリ))
第14回	課題制作(1) (授業を通して学んだことを活かしてオリジナルアプリを作成できる)
第15回	課題制作(2) (授業を通して学んだことを活かしてオリジナルアプリを作成できる)